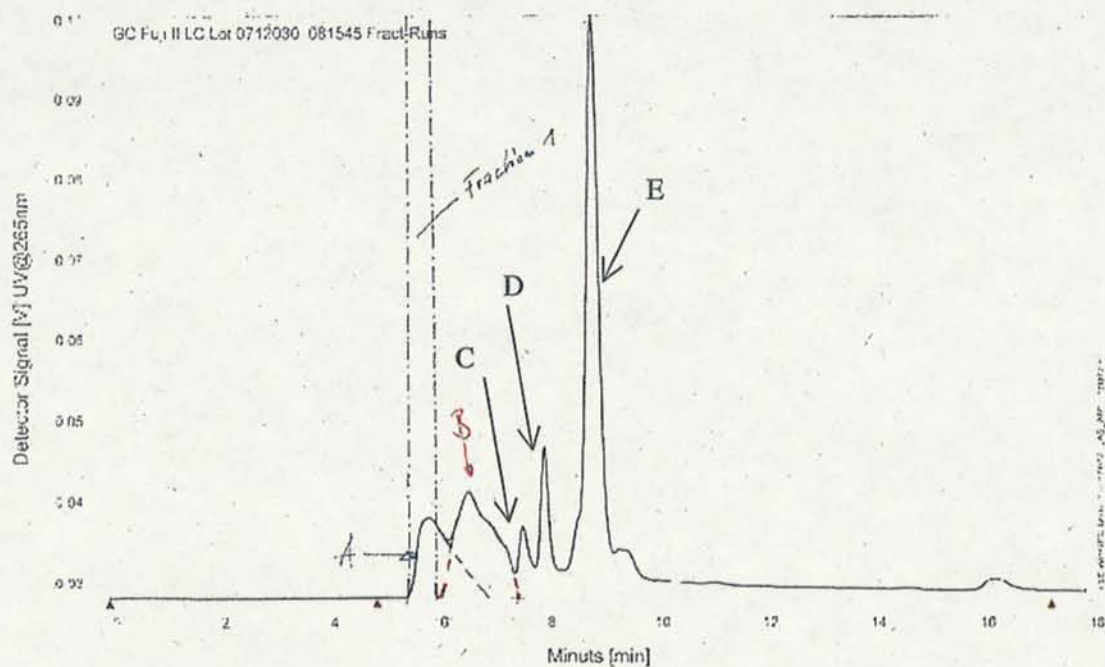


別紙 対比表

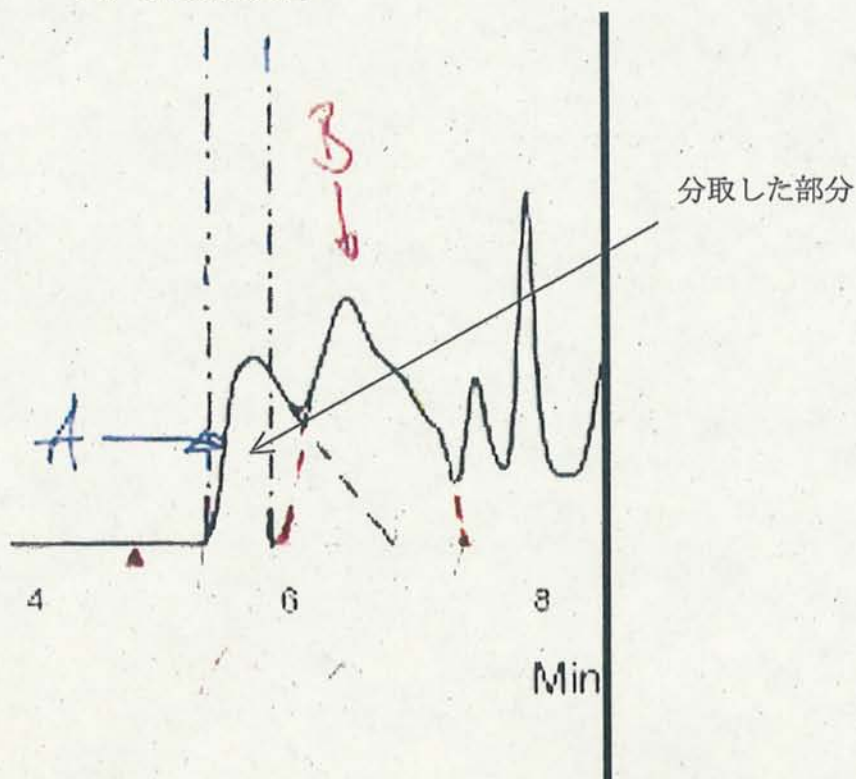
本件出願の出願公告時の発明	乙1 発明
a. 次の成分： (a) 酸基及び／またはその反応性酸誘導体基を含む、重合可能な不飽和モノマー及び／またはオリゴマー及び／またはプレポリマーと、	a. 第1頁左下欄第5～7行目(特許請求の範囲第1項)「分子内に<u>酸性基を有するビニル基モノマー</u>と該モノマーを可視光線により光重合しうる開始剤とからなる歯科用樹脂組成物において、」という点。
b. (b) <u>微粉状の金属化合物及び／または金属化合物を含有するガラス及び／または金属化合物を含有するセラミック及び／またはゼオライト及び／または酸化可能な金属及び／または窒化ホウ素、及び／またはこれらの充填剤及び／またはガラスまたはセラミックの混合物の焼結生成物及び／またはこれらの成分と貴金属との焼結生成物と、</u>	b. 第7頁左下欄第2～16行目「本発明の組成物には上述の<u>重合性単量体</u>および光重合開始剤の他に目的に応じて各種の充填剤が加えられてもよい。この充填剤は有機物であっても無機物であってもよく、有機物としては…であってもよい。また無機物としては、<u>二酸化ケイ素、アルミナ、各種ガラス類、セラミックス類、珪藻土、カオリン、モンモリロナイト等の粘土鉱物、活性白土、合成ゼオライト、マイカ、弗化カルシウム、リン酸カルシウム、硫酸バリウム、二酸化ジルコニウム、二酸化チタン</u>などよりなる粉末状、繊維状、薄片状のものでありその最大粒子径が100mμ～500mμのものが好ましい。」という点。
c. (c) 硬化剤	c. 第1頁左下欄第5～7行目(特許請求の範囲第1項)「分子内に<u>酸性基を有するビニル基モノマー</u>と該モノマーを可視光線により光重合しうる開始剤とからなる歯科用樹脂組成物において、」という点。
d. を含有する重合可能なセメント混合物。	d. 第7頁左下欄第2～4行目「本発明の組成物には上述の<u>重合性単量体</u>(成分(a))および<u>光重合開始剤</u>(成分(c))の他に目的に応じて各種の<u>充填剤</u>(成分(b))が加えられていてもよい。」という点。

別 紙 1

甲第 24 号証の図 2 分取的 GPC と同じものに手書きで点線を記入したもの



A/B 部分拡大図



別紙図 1

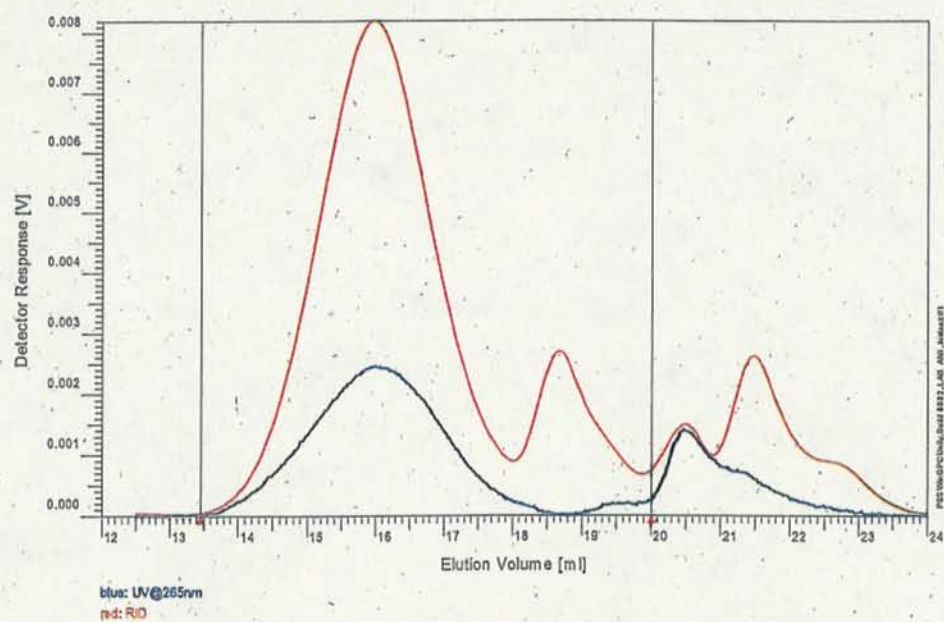


Fig. 1 GPC chromatogram of "Fuji II LC Liquid" (lot 0712030), detection: 265 nm (UV, blue) and RI (red), analytical column

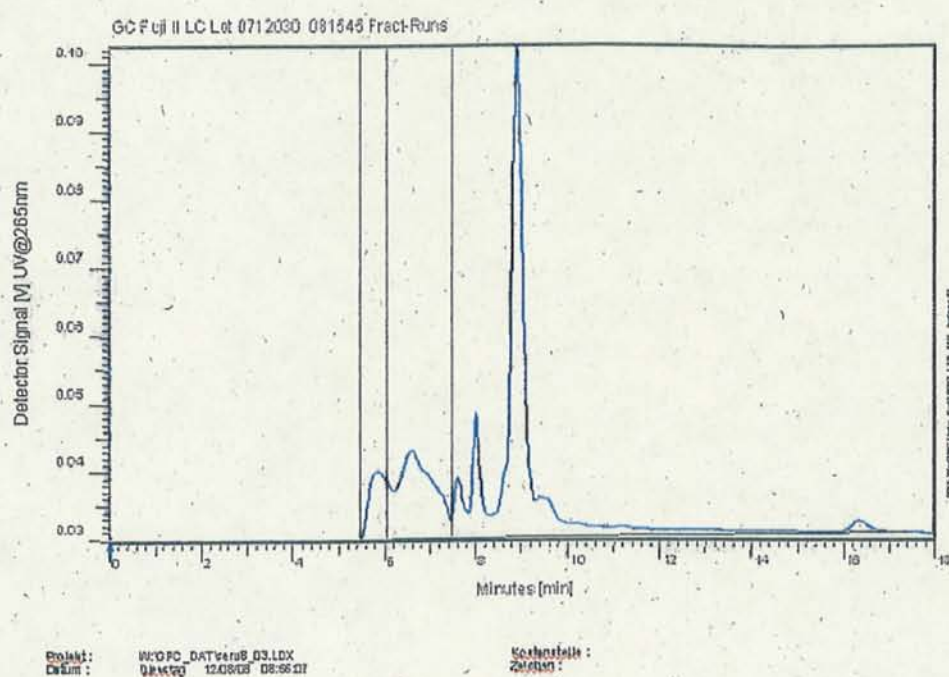


Fig. 2 GPC chromatogram of "Fuji II LC Liquid" (lot 0712030), UV detection (265 nm), preparative column

別紙図 4

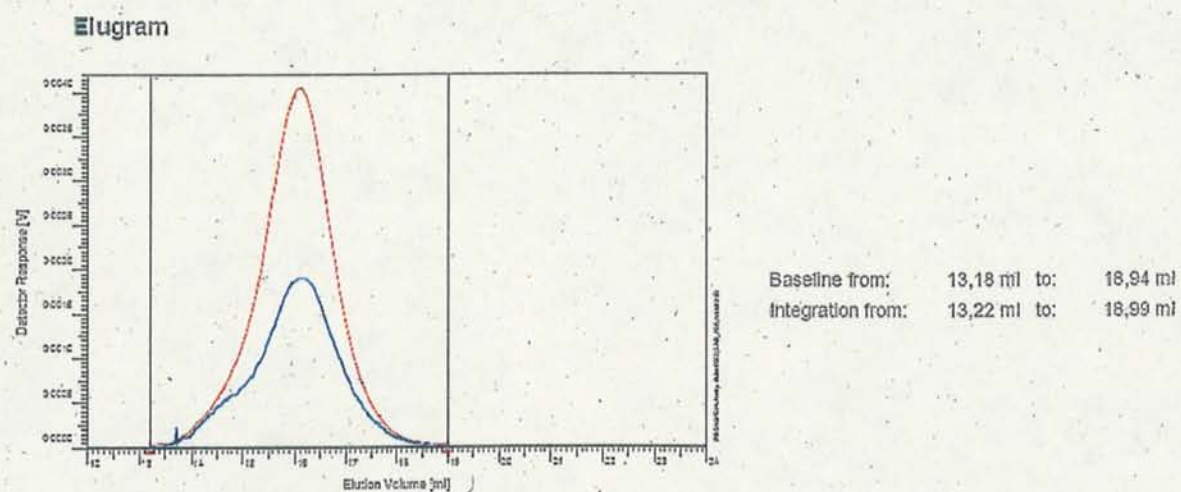


Fig. 4 GPC chromatogram of the isolated "Fuji II LC" polymer, detection: 265 nm (UV, blue) and RI (red), analytical column

別紙図 5

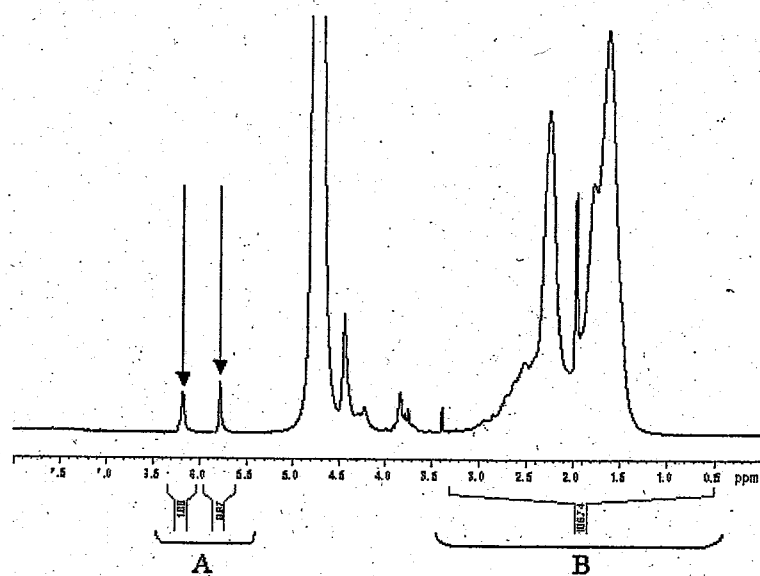


Fig. 5 ^1H -NMR spectrum of the isolated "Fuji II LC" polymer fraction

別紙図 6

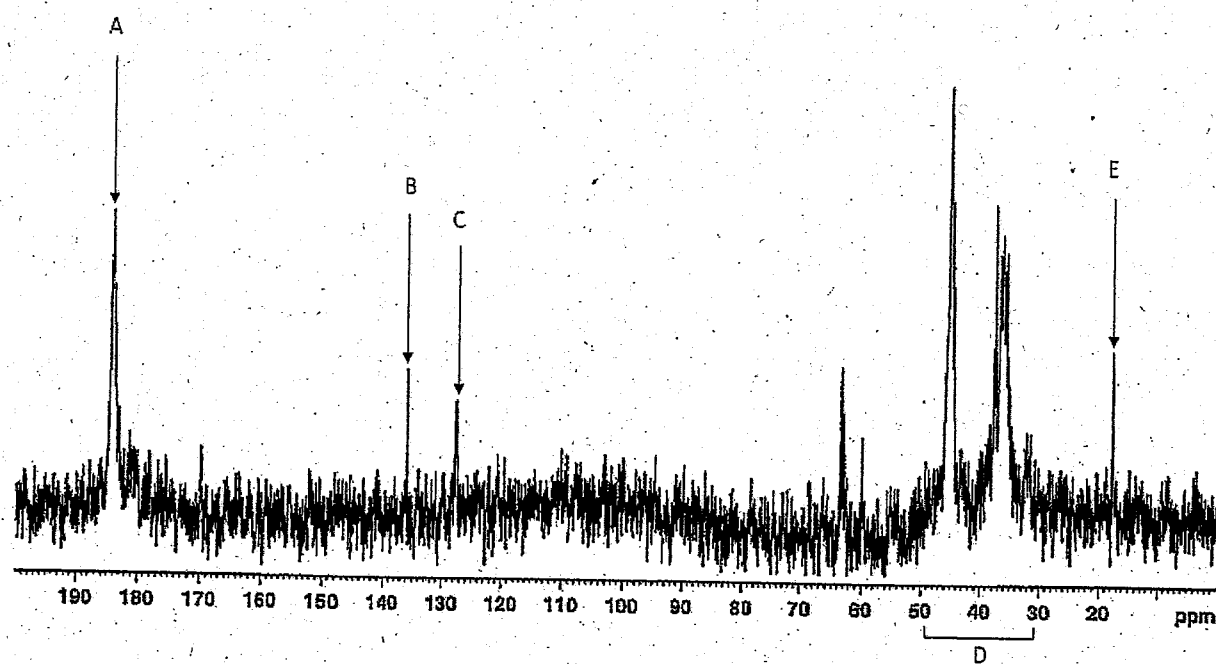


Fig. 6 ^{13}C -NMR spectrum of the isolated "Fuji II LC" polymer fraction